

国内・海外

○印：国内関係 ☆印：海外関係

4日(金) ☆ 米就業者、20万9千人増

米労働省が発表した7月の雇用統計で、景気動向を反映しやすいとされる「非農業者部門の就業者数（速報値、季節調整済み）」は、6月より20万9千人増え堅調な雇用の回復を見せた。

8日(火) ○ 経常収支の黒字、リーマン以降最大

財務省が発表した2017年上半期（1～6月）の国際収支（速報）は、経常収支の黒字額が前年同期比0.3%増の10兆5,101億円となった。半期ベースで08年のリーマン・ショック以降最大。

14日(月) ○ GDP年率4%増、6四半期連続プラス

内閣府が発表した17年4～6月期の国内総生産（GDP、季節調整値）速報値は、物価変動を除く実質で前期比1.0%増、このペースが1年間続くと仮定した年率換算は4.0%増だった。

25日(金) ○ 消費者物価、0.5%上昇

総務省が発表した7月の全国消費者物価指数（2015年=100、生鮮食品を除く）は、前年同月比0.5%上昇の100.1だった。上昇は7カ月連続。電気代等エネルギー関連の上昇が影響。

31日(木) ○ 7月の鉱工業生産、低下

経済産業省が発表した7月の鉱工業生産指数（2010年=100、季節調整済み）の速報値は、101.5と6月を0.8%下回った。低下は2カ月振り。全15業種のうち11業種で生産が低下。

県内・九州

★印：県内関係 ●印：九州関係

1日(火) ★ 長崎サミット、新幹線フル規格化推進で一致

県内の産学官7団体のトップによる長崎サミットが開催され、九州新幹線長崎ルートについて、全線を新幹線専用の軌道にする「フル規格化」を推進することで一致した。

4日(金) ★ 17年3月高卒者、県内就職率過去最高の63%

長崎県が学校基本調査の速報を発表。17年3月の県内高校卒業生12,977人のうち3,898人が就職。うち県内就職者は2,456人で、県内就職率は63.0%と調査開始の1961年度以降最高に。

7日(月) ● 百貨店・スーパー、3カ月連続販売増

九州経済産業局が発表した6月の九州・沖縄の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比0.9%増の1,188億円となり、3カ月連続で増加した。

9日(水) ● 九州鉱工業生産指数、2カ月振り上昇

九州経済産業局が発表した6月の九州の鉱工業生産指数（2010年=100、季節調整済み）は、前月比2.0%増の108.7と2カ月振りに上昇した。

29日(火) ★ 長崎県の有効求人倍率、1.16倍

長崎労働局が発表した長崎県の7月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.16倍で6月と同水準だった。22カ月連続で1.0倍を超え、16カ月連続で1.1倍台。